

機械器具設置工事業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16~17	自社資材置場において、ダンプ車後方扉を開けた状態で荷台に積んであった砂をスコップで降ろそうとした際、扉のフックが完全に留められていなかったため、扉が被災者の左足甲に落下し、骨折した。	34	—
2	6~7	自社の倉庫で四角い木材をトラックに搬入中、トラック荷台あおり部にぶつめた。	35	10~29
2	13~14	本社内では補修工事のための工事機材を2tトラック上で整理していた。その際、右足作業着の裾がトラックの荷台に引っ掛かってしまい、バランスを崩し、荷台から転落し、左膝周辺部を地面に強打し、負傷したものである。（トラック荷台から地面まで約1m、後ろ向きで地面に落下したが、右足裾が荷台に引っ掛かったため、地面に対して体が正面に近い向きになり、左膝付近を打ちつけた。）	63	—
2	23~24	工場にて道具をトラックに積込をしている際誤って転落した。その時に肘をついて負傷した。	26	—
7	8~9	4tユニック車で足場材を輸送中、途中で荷崩れしそうになったため、クレーンを使用して積み直し再出発した。クレーンのブームを収納し忘れていたため、道路標識の看板にブームが接触し、その衝撃で負傷した。	32	30~49
7	8~9	4tユニック車で足場材を輸送中、途中で荷崩れしそうになったため、クレーンを使用して積み直し再出発した。クレーンのブームを収納し忘れていたため、道路標識の看板にブームが接触し、その衝撃で負傷した。なお、被災者は助手席に座っていた。	21	30~49

9	17～ 18	倉庫で車の荷台から道具を降ろしている時、重さ（30kg）の道具箱が左足の甲に落としかかり負傷した。	21	1 ～ 9
10	9～ 10	会社の工場内でトラックから機材の荷下ろし作業をしているときに、トラック内で騎乗式の機械に乗ってトラックの荷台からトラック後部のパワーゲート（昇降装置）に機械を移動させたところ、バランスを崩し機械ごとパワーゲートから落下し、右足を機械と床の間に挟んでしまい負傷した。	35	30 ～ 49
10	5～6	元請によるロンピック添加剤ミキサー整備工事に向かう際に高圧洗浄車を準備しているときに、洗浄車後部の油圧式ホースリールを巻き取り時に、ホースの先端が近くに止めてあったリフトのタイヤに引っ掛かっていることがわからずに巻き、ホースが飛んできて目に当たり負傷した。	47	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html